



体調不良にご注意!

木枯らしも吹き始め、段々と冬本番に近付いて来ましたが、皆さんの体調管理は大丈夫でしょうか？ 小学生クラスの生徒さん達の話しでは、学校内でのインフルエンザの流行も始まっている、学級閉鎖の可能性も有ると言う事でした。メディアの情報でも、今シーズンは流行が早いと伝えていきます。

最近の作品紹介

最近の、各クラスの作品制作について、少々ご紹介致します。最近、今までは少々趣を異にした作品製作を行なったのは、成人クラスのです。下の写真の様に、床にブルーシートを敷いて、まるで幼児クラスの様、楽しい雰囲気での



制作を行ないました。課題の内容は『偶然性を利用して構成する、抽象的表現』です。ですから、まずは偶然性の強い色遊び的な制作から入りました。ここで使う色については、各人のセンスや好みです。

そのようにして作った色の洪水を、カード状に切り分け、30センチ四方程の画面に構成して行きます。隣合った色だけでは無く、画面全体での色の見え方の意識が大切です。大きな関係の中でのご思考を求めたいです。



成人クラスの課題 『抽象的な表現』 (→↓)

求むる点では、普段の制作も共通して行なっています。



展示会のお知らせ

アートスクールの講師が出品している展示会のお知らせを一つ。幼児クラスと小学生クラスを担当している依田梓講師が、今年の『第十一回リキテックス・ピエンナーレ』での大賞受賞に引き続き、今回は、『シエル美術賞』に入選致しました。代官山 ヒルサイドフォーラムにて十一月二十一日〜二十二日まで展示されています。入場料が四百円掛かりますが、スクールに招待券も有りますので、お持ち下さい。



ボタン文化 (編集後記)

先日、利き手の親指の先にヒビ割れが出来てしまい、痛くて不慣れな思いをしました。割れた所が丁度、携帯電話のキーを押す時に当って痛みます。メールの数が、ちよつとだけ減りました。でも、痛いのはメールの時だけではありません。パソコンのキーボードも痛い。エレベーターのボタンも、切符の券売機や銀行の機械、自動販売機、駅の立ち食いそば屋や牛丼屋の発券機、テレビ等のリモコン、ガスや電気のスイッチ、。もう、至る所がボタンだらけな事に、改めて気付かされました。最新の環境では、ボタンさえも無くなりつつあります。

『あく、やっぱり不器用になるな...』それが素直な気持ちでした。子供達の大好きなゲームもボタンです。懐古主義ではありませんが、昔は、テレビのチャンネルさえも、酷使すると接触が悪くなり、微妙な手応えで操作しないと映らなかつたり、電話機のダイヤル(保護者の方でも知らない方が居るかも...?)を廻すのも、慣れない内は大変だったし、鍛えられたかと思う。今思うと、それが良かったのかな。(鐵)

夏のアトリエ報告

ご報告が随分と遅くなってしまいました。今年度の夏のアトリエも小学生クラス、成人クラス共に、楽しく充実した制作を行いました。ご参加頂いた皆さん、ありがとうございました。また、今回は借しくもご参加頂けなかつた方も、来年度も行なう予定ですので、お楽しみに！

さて、今回の小学生クラスでは、『宝の地図』の制作を行いました。品濃中央公園を宝島に見立て、皆で筆記用具を持ってリサーチに。それぞれが自分の身体と頭を使って、公園を地図化しました。そして、相談をして宝物を公園の中に埋めました。何をどこに埋めたかは、ナイショです。アトリエに戻ってからは、全員で宝の地図会議を開き、全体の地図の形や記載する物事を決め、各パートの持ち場を決めて制作に入りました。



徒さんが見受けられます。



幼児クラスでは、段々と人数も増えてきて、活気が出てきました。特に年長さんのグループでは、お互いのコミュニケーションの頻度も増えてきて、もうすぐ小学生だな...と、感じる事も多くなりました。最近では、玉子の殻を使ったモザイクの制作をしています。玉子の殻に着彩する作業も、以前よりも様々な事に注意を払って行なう事が出来るようになりました。また、男子も女子も、綺麗な色を観て、素直に綺麗と言えるので、このままの気持ちを持って、小学生、中学生、と成長して行くてくれる事を祈ります。



(右写真: 葉脈標本の葉など。上写真: 幼児クラス授業風景)